

REVOS STX

日本語版取扱説明書

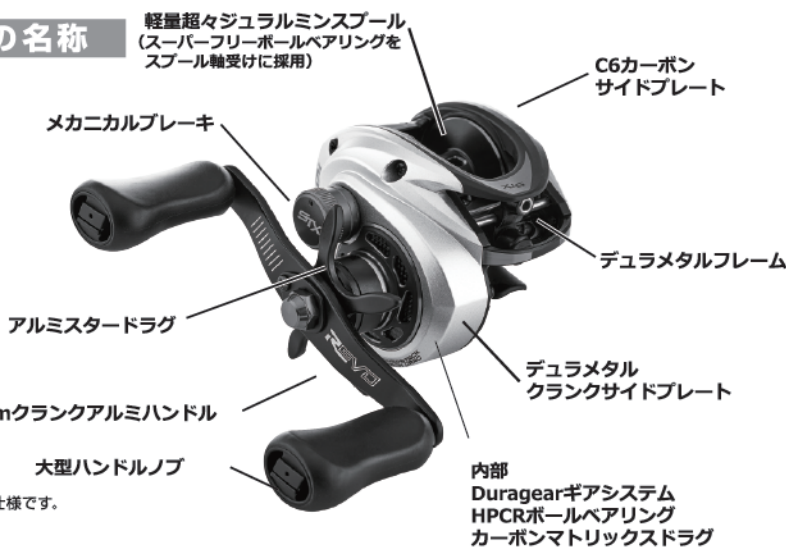
このたびはアブ・ガルシア Revo5 STX シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。

アブ・ガルシアリールは 50 年以上もの間、高品質、高機能、高耐久性のリールの代名詞として知られ、今日でも、トーナメントサーキットを転戦するバスプロ、記録を目指すエキスパート、フィッシングガイドなど、世界中のトップアングラーに選ばれています。

本機種のパフォーマンスを十分に引き出し、あなたの釣りを楽しいものにするために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

またこの取扱説明書は 大切に保管してくださいますよう、お願い申し上げます。

●各部の名称



※写真は右ハンドル仕様です。

●仕様一覧表

製品名	自重(g)	最大ドラグ力 (Kg)	ギア比	スプール 径(mm)/ 幅(mm)	最大ライン巻取 (cm/ハンドル回転)	ボール/ ローラーベアリング
REVOS STX-SHS	220	11.2	8.1 : 1	35/22	89	10/1
REVOS STX-SHS-L	220	11.2	8.1 : 1	35/22	89	10/1
REVOS STX	220	11.2	6.7 : 1	35/22	75	10/1
REVOS STX-L	220	11.2	6.7 : 1	35/22	75	10/1

※最大ライン巻取について:最大ライン巻取はスプール径からの計算値によってハンドル1回転あたりのライン最大巻取長を表示しております。
※製品の各仕様・デザイン・価格については、改良等のため予告なく変更する場合があります。
※自重はグリス等の量により変わることがあります。

●ラインキャパシティ

(単位:m)

糸の種類	ナイロンライン		PEライン
号数	16lb/4号	20lb/5号	3号
直径	0.33mm	0.37mm	----
糸巻量	115	90	120

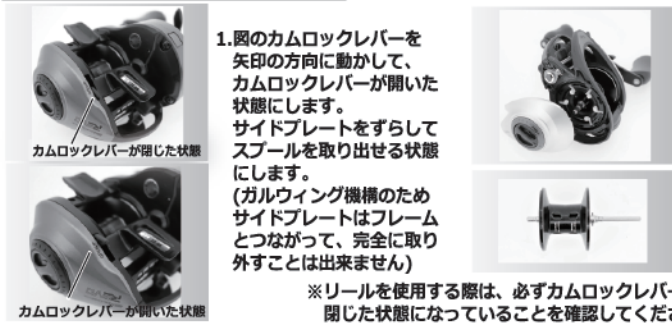
※ラインキャパシティについて:糸巻量は使用する各社ラインによって誤差が生じます。また、ラインを巻取るテンションによっても変化します。実釣においてはスプール径目一杯に巻くことはないため、上記の糸巻量は目安としてください。

●IVCB6遠心ブレーキの調整方法について



本機種のブレーキは遠心ブレーキを採用しております。ブレーキ力の調整は外部ダイヤルにて調整可能です。
(スプール側の白いブレーキユニットは取り外し出来ません。) キャスティング時にバックラッシュ防止のため、スプールにブレーキ力が必要な場合は、本ブレーキのダイヤルを強側 (MAX 側) に調整して下さい。
ルアーのウエイトや、風の状況により強弱を調整して下さい。ピッチングするときはブレーキを弱く設定して下さい。
写真は右ハンドル仕様です。

●スプール交換方法



安全上の注意 ご使用前に必ずお読みください。

注意

- 糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをするおそれがあります。
- ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。
- 糸が勢よく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。
- 心臓ペースメーカー等の電子医療機器を装着した人は磁石を取り扱わないでください。
- 磁石を誤って飲み込むと、生命に関わる場合があります。小さいお子様の手の届かない場所に保管ください。万が一呑み込んだ場合は至急医師の診断を受けてください。
- 磁石と磁石または他金属等の磁性体の間には非常に強い吸着力があります。急激に吸着し跳ねたりしますので眼鏡などを利用し保護して取り扱いください。
- 磁石を磁気テープ、磁気カード、その他記憶媒体、時計、電子機器に近づけないでください。故障やデータ破損の危険があります。
- 回転しているスプールには触れないでください。けがをするおそれがあります。

※製品の各仕様・デザイン・価格については、改良等のため予告なく変更する場合があります。

ピュア・フィッシング・ジャパン株式会社
〒135-0042 東京都江東区木場 2-15-12 MAビル
TEL 03-6860-5180



●その他の注意点

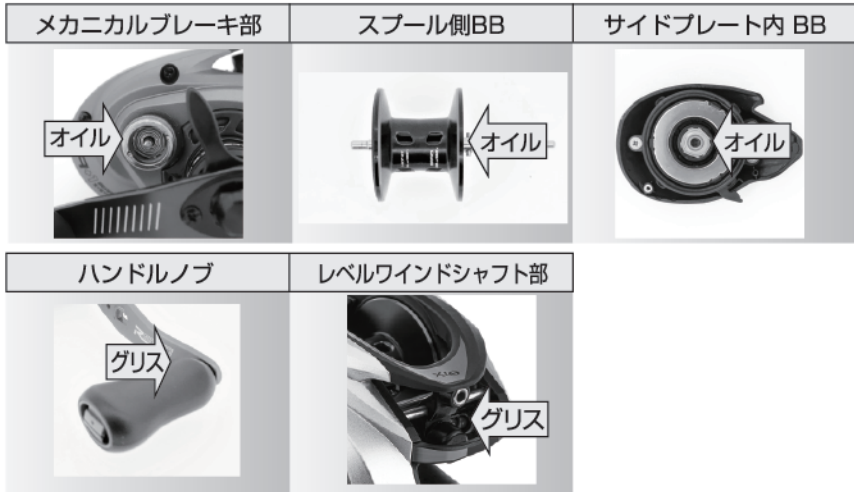
- 根掛かりした時は竿やリールで無理にあおらないで、手に手袋やタオルつけて巻きつけ切るようにしてください。
- リールの回転部にはグリスや油がついていきますので、衣類を汚さないように注意してください。
- リールを釣り以外の目的で使用しないでください。
- サムパークラッチを押したままハンドルを回転させないで下さい。故障の原因となります。
- 内部部品にはエッジ等がありますので手を切らないよう注意して下さい。
- リールは、精密機器であるため落したり、衝撃を与えないよう、ていねいに扱ってください。

●保管について

- 濡れたままや、湿度の高い状態や温度の高い状態で長時間保管しないでください。(車内や道具箱など)
- 水分を良く拭き取り陰干しした後、しっかりと乾燥させてください。
- 必ず竿から外した状態で保管してください。

●メンテナンス

リールは精密機械なので定期的なメンテナンスが必要です。つねに最良の状態を使用するためには、使用後必ず清掃と注油をしなければなりません。
海水での使用後に塩分等洗う場合は水道の水を流しながらリールの表面に付着した砂、汚れなどをサッと洗い落とします。その際、ドラグ、ギアなどが収められているリール本体に絶対に水が入らないように注意してください。下図の位置にオイルやグリスをさします。以上はあくまで、日常行なっていく最低限のメンテナンスです。
シーズンに一度は分解して洗浄・注油をするオーバーホールが必要です。
オーバーホール修理はピュア・フィッシング・ジャパンリペアセンターにて承っております。
内部は非常に複雑な構造な為、弊社でのオーバーホールをお勧めいたします。



●メカニカルブレーキ操作方法



ノブを強く締めるとスピールの左右のガタが無くなりスピールにブレーキ力が発生します。ノブを弱く緩めるとスピールフリーが向上します。通常はスピールの左右のガタが無くなる程度に調整します。風が強く、キャスト時に糸が浮く時に締めこみ調整します。

●ドラグ調整方法



ドラグとは、魚が強く引いたときにラインを切られないように魚の引く力に合わせてラインをスムーズに送り出すシステムです。正確にドラグを調整するには「バネばかり」を使用すると良いでしょう。スタードラグを回転させてドラグ力の調整を行います。

まずリールをロッドに取り付け、ラインをロッドのガイドに通してからラインをバネばかりに結びます。ラインの強度の限界点に達する前にドラグが滑り出すようにします。ドラグはライン強度の1/3をはかりの目盛りがさした時に滑り出すようにセットします。ライン強度の1/3に設定する方法は一般的な目安ですので、対象魚や釣り場の状況に合わせて調整してください。ドラグが弱すぎると確実なフックセット(アワセ)が出来ませんし、強すぎると魚の強烈な引きにラインブレイクしてしまいます。(ライン強度テスト値の1/2以上の強さに調整すると、ラインブレイクする恐れがあります。)

※左ハンドルは強弱の回転方向が逆です。